

**新型コロナウイルス感染症に伴う
休校、入試イベント自粛期間中の
受験情報の収集についてのアンケート
〈報告書〉**



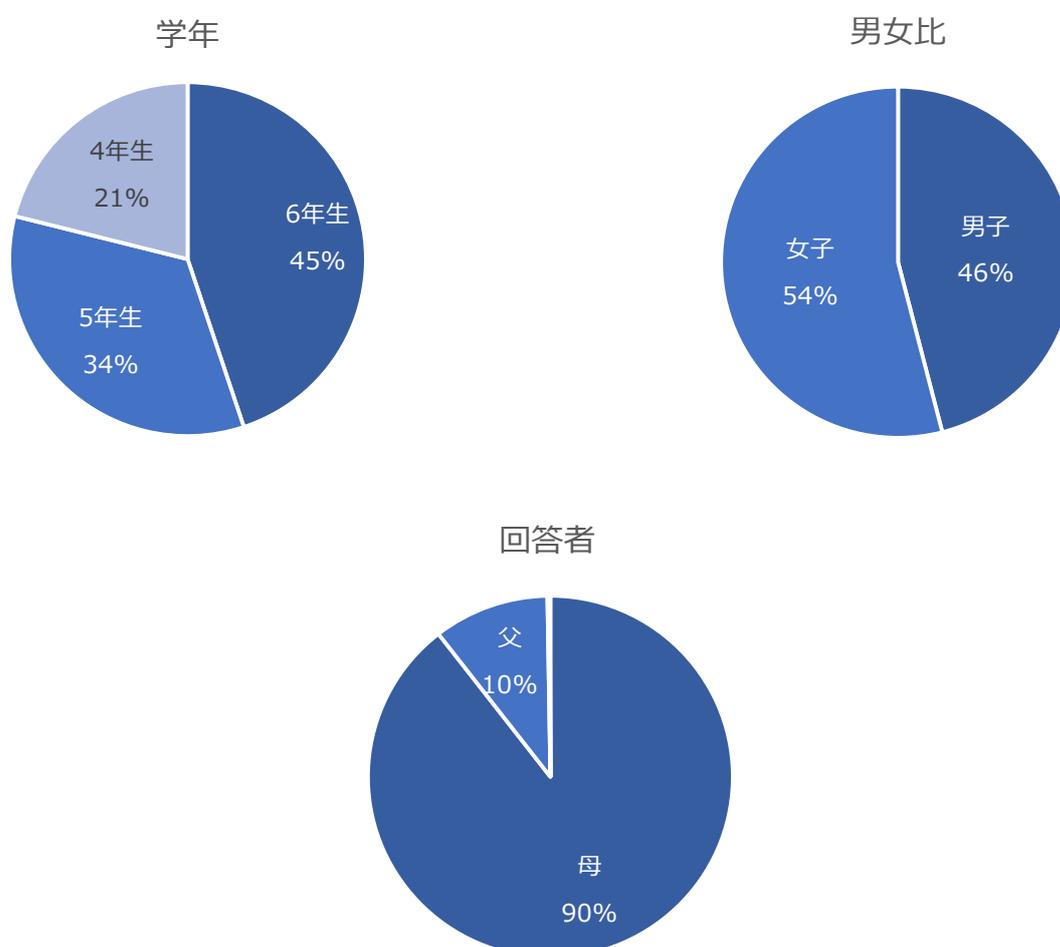
コアネット教育総合研究所

日能研関東

アンケート概要

実施日	2020年4月17日（金）～2020年4月21日（火）
調査対象	日能研に通塾する小学校4年生～6年生の保護者
実施方法	WEBアンケートにて実施
回収数	2,310件

<回答者属性>



<回答者属性内訳>

学年	男子	女子	計
6年生	503	534	1037
5年生	342	444	786
4年生	217	270	487

回答者	回収数
母	2067
父	237
祖母	4
祖父	1
不明	1

集計結果

I. 情報収集の方法について

問. 休校、入試イベント自粛期間中の主な受験情報の収集の手段を教えてください。

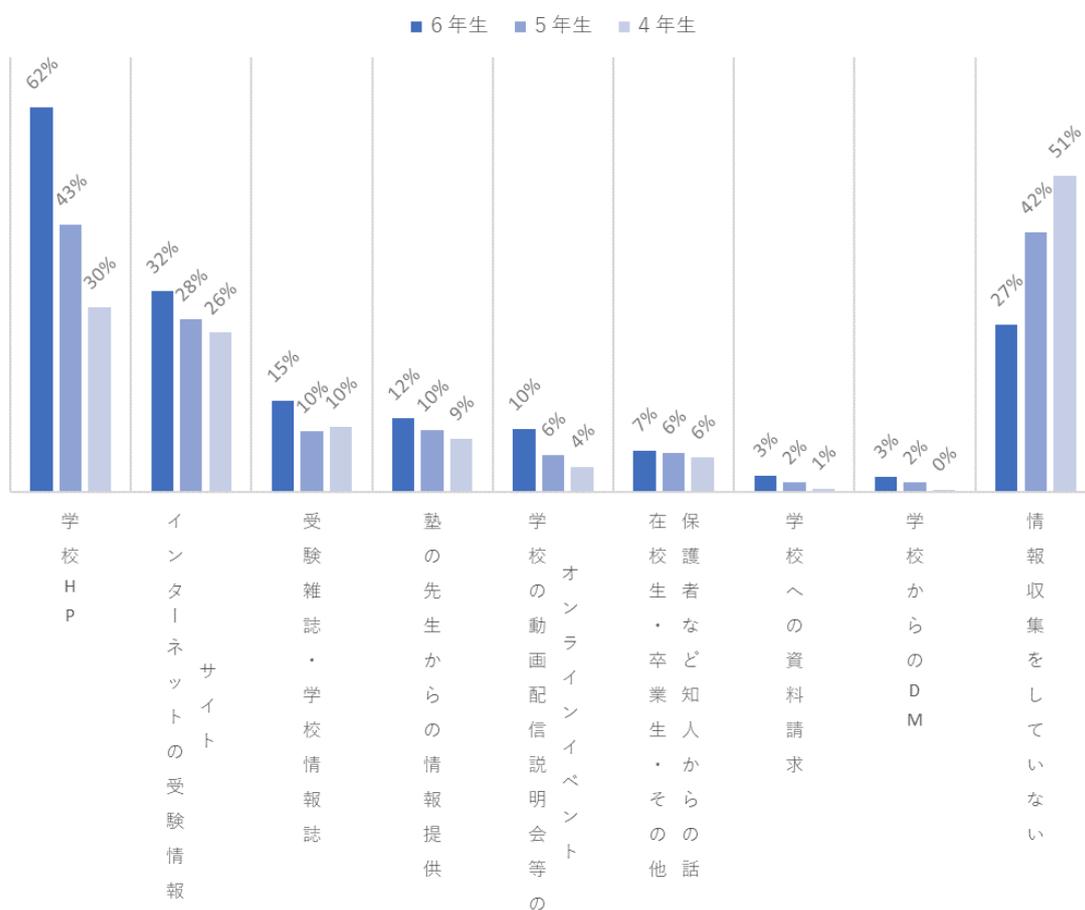
【複数回答】

(選択肢)

- 学校 HP
- インターネットの受験情報サイト
- 受験雑誌・学校情報誌
- 塾の先生からの情報提供
- 学校の動画配信説明会等のオンラインイベント
- 在校生・卒業生・その他保護者など知人からの話
- 学校への資料請求
- 学校からのDM
- 情報収集をしていない

主な情報収集の手段は「学校 HP」が最も多く、次いで「インターネットの受験情報サイト」が多かった。休校、入試イベント自粛に伴い動画配信説明会等のオンラインイベントを実施する私学も増えてきているが、実際に情報収集をしている手段として「学校の動画配信説明会等のオンラインイベント」から情報を収集している保護者の割合は低かった。

※表記の割合は各学年の回答者実数に対する、該当項目の回答割合。



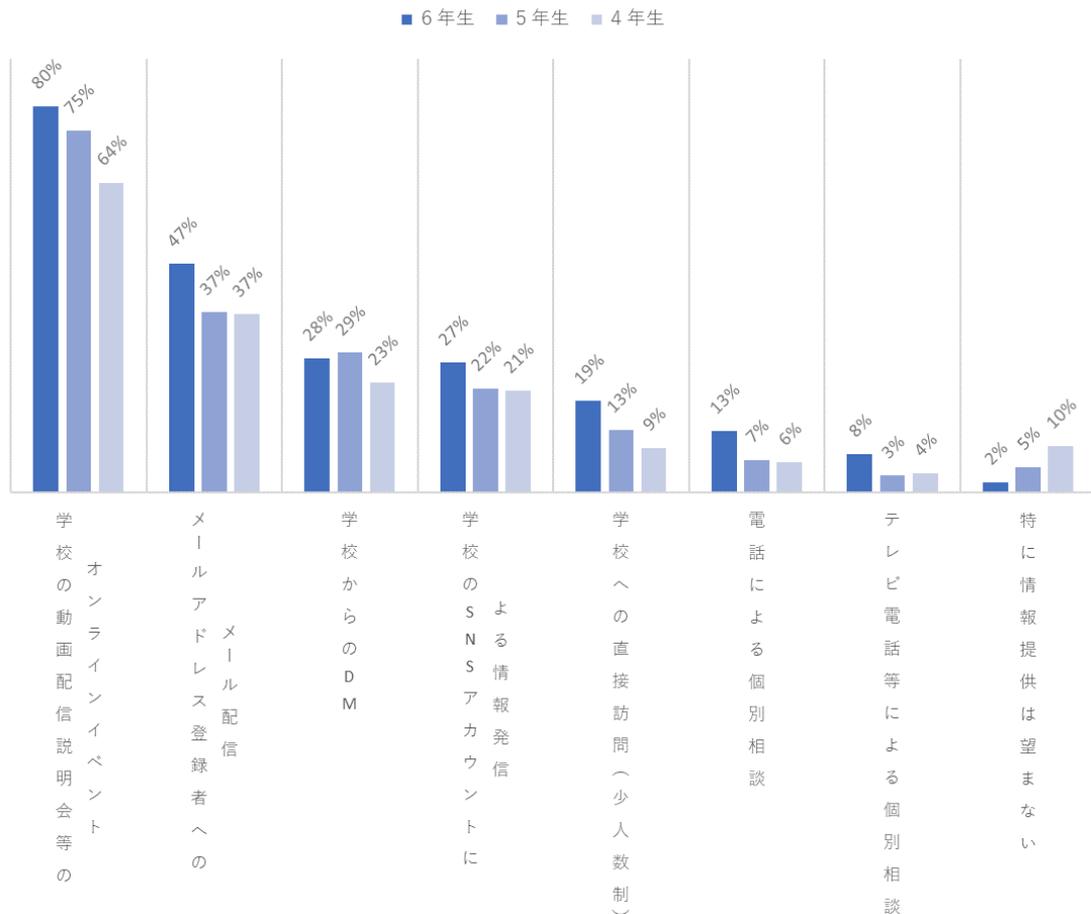
問. 休校、入試イベント自粛期間中の学校からの情報提供の手段として、こういった手段を望みますか。【複数回答】

(選択肢)

- 学校の動画配信説明会等のオンラインイベント
- メールアドレス登録者へのメール配信
- 学校からのDM
- 学校のSNSアカウントによる情報発信
- 学校への直接訪問(少人数制)
- 電話による個別相談
- テレビ電話等による個別相談
- 特に情報提供は望まない

実際の情報収集の手段の結果とは裏腹に、「学校の動画配信説明会等のオンラインイベント」の実施を望む声が多い。各私学のオンラインイベントの実施自体を知る機会の少なさが影響している可能性がある。

※表記の割合は各学年の回答者実数に対する、該当項目の回答割合。



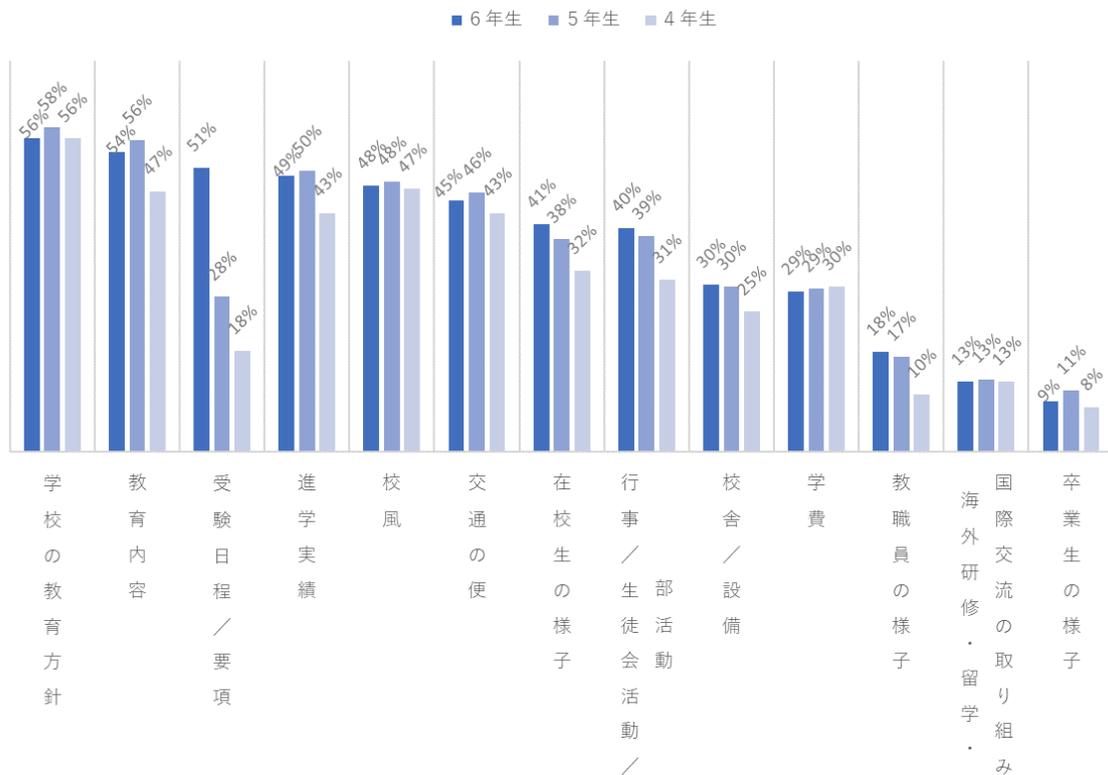
II. 取得している情報の内容について

問. 休校、入試イベント自粛期間中、保護者の皆さまが収集している情報はどのような情報か教えてください。【複数回答】

(選択肢)

- 学校の教育方針
- 教育内容
- 受験日程/要項
- 進学実績
- 校風
- 交通の便
- 在校生の様子
- 行事/生徒会活動/部活動
- 校舎/設備
- 学費
- 教職員の様子
- 海外研修・留学・国際交流の取り組み
- 卒業生の様子

※表記の割合は各学年の回答者実数に対する、該当項目の回答割合。

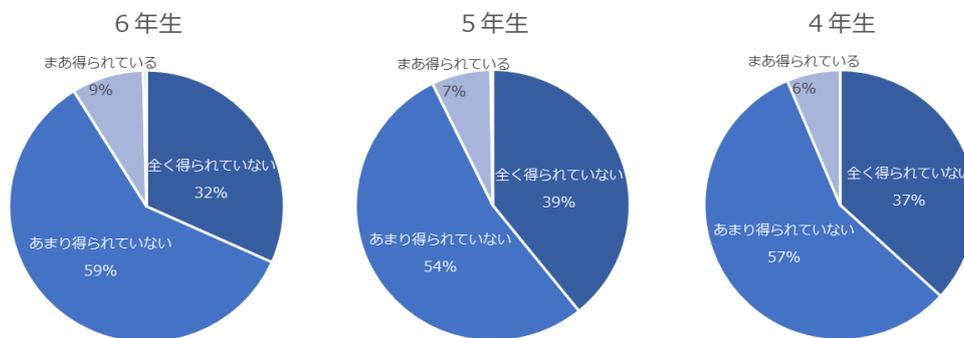


問. 休校、入試イベント自粛期間中、受験に関する情報をどれくらい得られていると思いますか。【択一式】

(選択肢)

- 全く得られていない あまり得られていない まあ得られている 十分得られている

「全く得られていない」の割合は6年生保護者が最も低く32%だったが、「全く得られていない」「あまり得られていない」の割合を見ると、全ての学年で90%を超える結果となった。

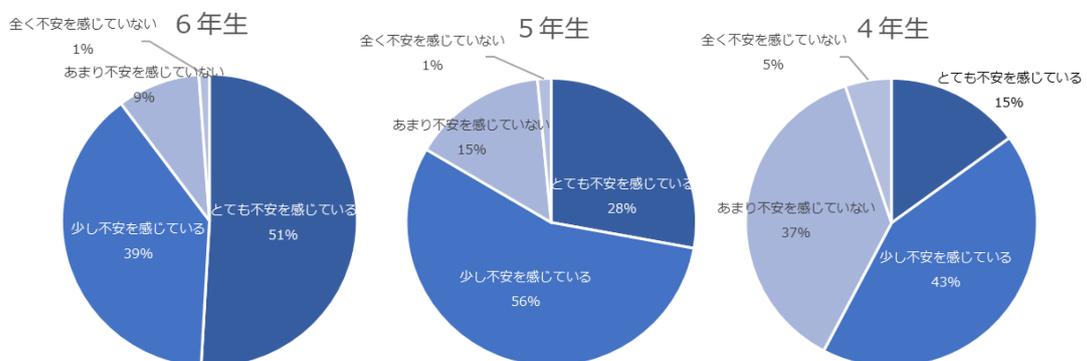


問. 休校、入試イベント自粛期間中の情報収集について、どれくらい不安を感じられていますか。【択一式】

(選択肢)

- とても不安を感じている 少し不安を感じている
 あまり不安を感じていない 全く不安を感じていない

6年生保護者の90%は現状の情報収集の状況に不安を感じており、その内51%が「とても不安を感じている」という結果となった。

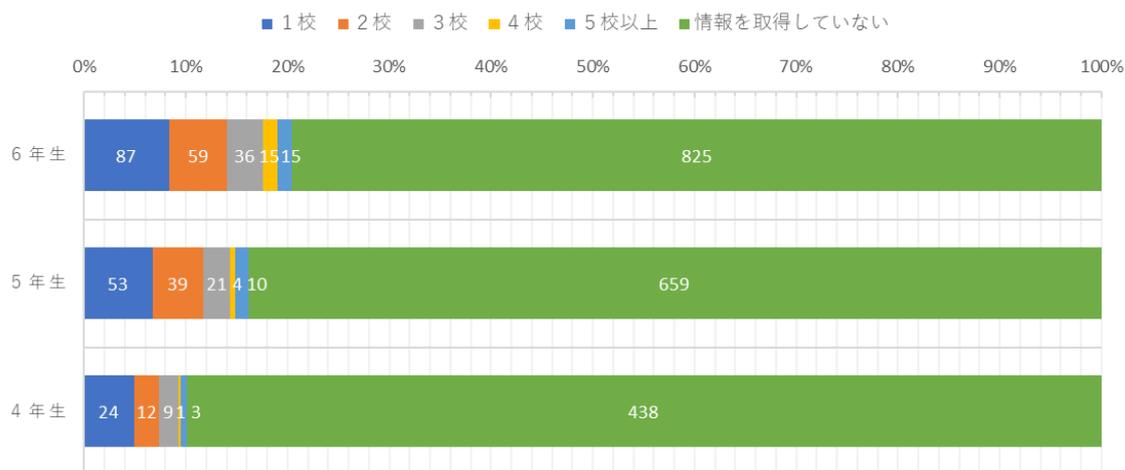


Ⅲ. 情報を取得している学校数について

問. 休校、入試イベント自粛期間中、「学校の動画配信説明会等のオンラインイベント」「学校への直接訪問」によって情報を取得した学校数を教えてください。【択一式】
(選択肢)

1校 2校 3校 4校 5校以上 情報を取得していない

「学校の動画配信説明会等のオンラインイベント」や「学校への直接訪問」等、学校からの直接の情報収集においては、全ての学年で「情報を取得していない」の回答が大多数を占めた。6年生保護者では「1校」から「5校以上」と回答した保護者は約20%。そのうち、「1校」と回答した保護者は、「1校」から「5校以上」と回答した保護者のうち、約40%、「1校」「2校」と回答した保護者を合わせると約70%となった。



新型コロナウイルス感染症に伴う休校、入試イベント自粛期間中の 受験情報の収集についてのアンケート まとめ

【結果】

外出自粛期間において、受験生保護者は主に「学校 HP」や「インターネットの受験情報サイト」を中心に情報収集を行っていることがわかった。

「学校の動画配信説明会等のオンラインイベント」のニーズはある一方で、実際に活用している受験生保護者は多くなかった（6年生の受験生保護者が望む学校の情報提供手段の回答の割合 80%に対して、実際に活用していると回答した割合 10%）。

また、6年生の結果を見ると、「学校の動画配信説明会等のオンラインイベント」や「学校への直接訪問」等、学校からの直接の情報収集を行っていると回答した保護者は全体の約 20%。そのうち、「1校」と回答した保護者は、上記のうち約 40%、「1校」「2校」と回答した保護者を合わせると約 70%となることがわかった。

【考察】

現状私学側の対応として、仮に「学校の動画配信説明会等のオンラインイベント」を実施するとしても、その告知の手段としては、「学校 HP」や「過去に来校した受験生」への DM やメール配信にとどまっているのが現状といえるだろう。

刻一刻と変化する状況により、私学も都度対応の変更を余儀なくされる中で、各学習塾に対して説明会等の情報を十分に告知することは難しく、また各学習塾側の視点に立つても、必ずしも塾生にその情報を周知できる状況にあるとは言えない。

そうした状況を受け、各教育関連企業においては、企業が持つ専用のポータルサイトに複数の学校の紹介や動画を掲載する等の、いわゆる「連合広告」のサービスを実施する企業も増えている。「学校の動画配信説明会等のオンラインイベント」「学校への直接訪問」による情報収集を行っている6年生保護者が全体の約 20%、かつそのほとんどが、「1校」「2校」と、志望度の高い学校のみでの情報収集しかできていないであろう状況を考慮すると、こうした「連合広告」への参加によって、これまで訴求することができなかった保護者の目にとまる可能性は高まるかもしれない。

また、こうした状況下だからこそ、これまでの来校者リストに対しての告知を徹底するだけでなく、リスティング広告や検索連動型の広告といった Web 広告等を用いて、新規接触者を獲得するための施策を検討する必要があるのではないだろうか。特に、Web 広告の中には検索結果のトップ画面への表示だけでなく、受験情報サイト上に画像のバナーとして表示されるタイプもあり、今の状況下においてはターゲットとする受験生保護者の目に触れやすいといえる。

今後の先行きが不透明な現状においては、タイミングを逸することのないよう、早期にこうした Web 広告等を活用し、戦略的に広報を行ってみてはいかがだろうか。

<本アンケートについてのお問い合わせ>

コアネット教育総合研究所

〒224-0003

横浜市都筑区中川中央 1-26-10

TEL:045-914-3005

FAX:045-914-3015

E-mail:info@core-net.net



コアネット教育総合研究所